

日時：平成24年7月7日（土）

場所：川口駅前市民ホール キュポ・ラ本館4F

「フレンジア」

プログラム

1. 開会の辞 田中 祐司 先生

(9:55)

(防衛医科大学校 総合臨床部教授)

2. (ア) 特別講演1 「愛ある診療連携の実際」

(10:00~11:00)

演者 林 道夫 先生 (NTT東日本関東病院 糖尿病・内分泌内科 部長)

座長 犬飼 敏彦 先生 (獨協医科大学越谷病院 糖尿病内分泌・血液内科 教授)

質疑応答 (10分)

(イ) 特別講演2 「糖尿病治療/療養指導はどの方向に進むか」

(11:00~12:00)

演者 加計 正文 先生 (自治医科大学附属さいたま医療センター 内分泌代謝科 教授)

座長 鈴木 裕也 先生 (埼玉社会保険病院 名誉院長)

質疑応答 (10分)

3. ランチョンセミナー

「質向上・安全・効率化を目指して ～業務・療養指導・申請にわたるまで～」

(12:00~13:00)

演者 金子貴美江 先生 (小川赤十字病院)

演題 「仲間を増やす工夫と指導記録～申請の極意」

座長 松田 昌文 先生 (埼玉医科大学総合医療センター 内分泌・糖尿病内科 教授)

質疑応答 (5分)

演者 清水 智代先生、阿部かなこ先生、田中愛子先生 (防衛医科大学校)

演題 「当院での工夫・質・安全・効率」

質疑応答 (5分)

4. 教育講演

(13:00~14:10)

演者 奥田弘美先生 (相州メンタルクリニック相模大野・メディカル&ライフサポートコーチ研究会)

演題 「医療コミュニケーションのヒント～メディカルサポートコーチングのご紹介」

座長 勝盛弘三 先生 (済生会川口総合病院 糖尿病・内分泌内科 主任部長)

質疑応答 (10分)

5. シンポジウム 「自身・自施設・自地域での工夫の披露とその共有」

(14:10~16:25)

1. 座長 木内恵子 (埼玉医科大学)・市場仁子 (埼玉医大総合医療センター)
2. コメンテータ 盛田幸司先生 (防衛医科大学校 内分泌・代謝内科)
3. 演者・演題・時程：18分/題×5題+45分の総合討論

- (ア) 看護師：中安文恵 (防衛医科大学校) 「快適な通院を通じた受信率向上の工夫」
(イ) 運動療法：松井浩 (ヒューマンモア) 「楽しく長く続く運動でロコモ予防を」
(ウ) 管理栄養士：浦本和美 (埼玉社会保険病院) 「地域連携の中での栄養指導」
(エ) 臨床検査技師：遠藤敏彦 (川口市医療センター) 「負担少ない自己チェック」
(オ) 薬剤師：関谷律子 (防衛医科大学校) 「服薬率・履行率を上げる工夫」

6. 閉会の辞 田中 祐司 先生

(16:25~16:30) (防衛医科大学校 総合臨床部 教授)

-
- 参加申し込みは、FAXまたはE-mailにて必要事項をご記入の上お申し込みください。郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、施設名、所属、電話番号まで正確にご記入ください。複数でお申し込みの場合は全員のお名前をご記入ください。

注) CDEの方は受講お申し込みの際、必ずその旨記載願います。昨年度から認定更新のための単位申請の方法が変わりましたのでご協力お願い致します。

*当日 認定番号を忘れずに持参ください

- 締め切り：平成24年6月25日(月)必着(申し込み先着順)

- 申し込み先 第20回埼玉糖尿病教育セミナー係

FAX：048-640-6028 又はE-Mail

- 問い合わせ先

バイエル薬品(株)事業推進本部 第20回埼玉糖尿病教育セミナー係
〒330-9843 さいたま市大宮区吉敷町1-75-1 太陽生命大宮吉敷町ビル7階
電話 048-640-6027

- 申し込み方法 詳細は裏面をご覧ください

第 20 回埼玉糖尿病教育セミナー申し込み用紙

1) 必要事項をご記入の上、F A Xでお申込みください

F A X : 048-640-6028

2) E-mail : hiroshi.udagawa@bayer.com

バイエル薬品(株) 担当: 宇田川宛に必要事項を明記のうえ、お申込み下さい

*申し込み締め切り: 平成 24 年 6 月 25 日 (月) 着分まで

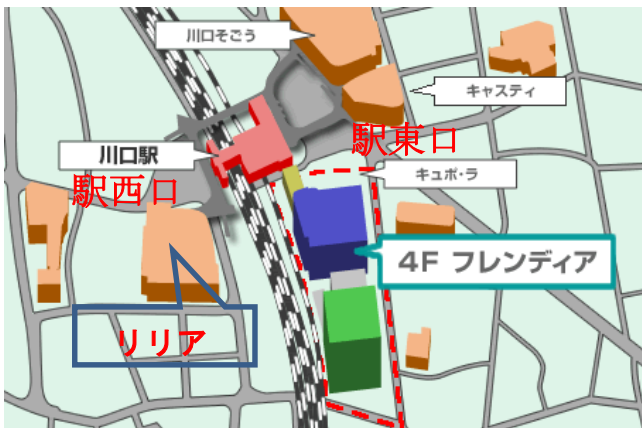
ご施設名: _____ 所 属: _____

住 所: 〒 _____

電話番号: _____ (内線: _____)

ご氏名	ご職業:	CDE の資格	参加回数
_____	_____	あり・なし	_____ 回目
_____	_____	あり・なし	_____ 回目
_____	_____	あり・なし	_____ 回目
_____	_____	あり・なし	_____ 回目
_____	_____	あり・なし	_____ 回目

会場案内図



- *申し込みの詳細は3 pを参照ください。
- *必ず連絡先を記入ねがいます。
(住所、氏名、〒、TEL、施設名)
- *複数でお申し込みの場合は全員のお名前を記入ください。
- *CDEの有資格者は ありに○をつけてください。
当日認定番号を持参ください。

第 20 回埼玉糖尿病教育セミナープログラム

埼玉糖尿病教育セミナーは糖尿病療養指導に携わる方々の情報提供の場として今回で 20 回目を迎えました。この間 2001 年には日本で最初の糖尿病療養指導士制度が発足、それから 11 年が経過した現在、県内でも多数の療養指導士さんが活躍されています。一方、この間に、指導業務も治療選択肢も飛躍的に増え、世の中の眼も厳しくなる等、なかなか思い通りの療養指導や診療連携ができないのも実情なのではないかと思えます。

今回のセミナーはこうした現状をふまえて、『辛いところに手が届く療養指導/愛ある診療連携』を総合テーマとし、療養指導や診療連携が本当に患者さんの為になっているか、医師や療養指導士だけの為で終わっていないか、等を、各職種の方々に積極的に議論に加わって頂きながら、具体的・実践的・実行可能な解決を探る機会としたいと思います。

午前の特別講演の部では、都下城南地区で豊富な診療連携経験をお持ちの林道夫先生(NTT 東日本関東病院)に「愛ある診療連携の実際」について御紹介いただき、次いで糖尿病・膵臓の病態生理の第一人者加計正文先生(自治医大さいたま医療センター)に糖尿病治療の現況と近未来について解説していただきます。

ランチョンセミナーでは、判り易い話とお人柄で人気の金子貴美江先生(小川赤十字病院)に「受験のコツ・仲間を増やすコツ」をお話いただき、私の施設(防衛医大病院)からのちょっとした自慢も御紹介致します。

午後の教育講演では、療養指導の上で欠かせない技術となりつつある「コーチング」について、パイオニア&エキスパート 奥田弘美先生(メディカル&ライフサポートコーチ研究会)に御講演と DVD 指導をいただきます。

メインプログラムとしては、療養指導士各職種の方々から御自身・自施設・自地域での工夫を披露いただき、御参加の皆様との共有を目指すシンポジウムを企画しました。県内外で種々の工夫を凝らしておられる方々に、とっておきの話をお願いしておりますので、皆様と是非、情報交換や切磋琢磨していただければと期待しております。

多数の皆様の御参加をお待ち申し上げます。

第 20 回世話人 田中祐司(防衛医科大学校 総合臨床部)

日 時：平成 24 年 7 月 7 日(土) 午前 9 時 55 分～午後 4 時 30 分(受付開始 9:10～)

会 場：川口駅前市民ホール「キューポ・ラ本館 4F フレンドィア」

〒332-0015 埼玉県浦川口市川口 1-1-1 TEL：048-227-7603

共 催：埼玉県糖尿病協会 バイエル 薬品株式会社 事業推進本部

後 援：埼玉県、埼玉県医師会、浦和医師会、埼玉県病院薬剤師会、埼玉県薬剤師会、

埼玉県看護協会、埼玉県栄養士会、埼玉県臨床検査技師会、埼玉県医療社会事業協会

世話人：田中 祐司 先生(防衛医科大学 総合臨床部 教授)

対 象：医師、保健師、看護師、栄養士、薬剤師、検査技師、理学療法士、他(コメディカル)

定 員：300 名(申込み先着順)

受講料：3000 円(昼食代を含む)当日申し受けます

締め切り：平成 24 年 6 月 25 日(月曜日)必着

問い合わせ先 バイエル薬品(株) 糖尿病領域 第 20 回埼玉糖尿病教育セミナー係

〒330-0843 さいたま市大宮区吉敷町 1-75-1 太陽生命大宮吉敷町ビル 7 階
電話 048-640-6027

日本糖尿病療養指導士認定更新単位を 2 単位申請中<第 2 群>

日本糖尿病療養指導士認定更新単位を 2 単位申請中<第 1 群> 看護の研修単位